Readable

ページめくり機

りーだぶる 2　*PM80064A*

取扱説明書

ごあいさつ

　このたびは「りーだぶる２」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

　ご使用前にこの取扱い説明書をよくお読みいただいた上で、正しくお使いください。
お読みになった後は大切に保管していただき、
取扱いがわからないときや、不具合が生じたとき、そのつどご参照ください。

****

　QOL “Quality of Life”（生活の質の向上）という理念が提唱されてから久しく時が流れております。

　「りーだぶる２」は障碍（しょうがい）のある方が、“自由に本を読める”ことを念頭に開発いたしました。

　文庫本からA4ｻｲｽﾞの本までめくることができます。
本のセットだけは周りの人にお願いしなければなりません。
本の大きさ・紙質などによって初期設定が必要になりますが、ほんの少しだけお慣れになれば簡単にセットできるようになります。ご面倒ですが、お読みになる方の“読書の楽しみ”のために充分に「りーだぶる」の操作をマスターしていただくよう、お願いいたします。

　この「りーだぶる」が、ほんの少しだけでもQOLのお役に立つことができますよう、弊社社員一同願っております。

もくじ

・ごあいさつ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
・安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
・主な機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
・各部のなまえとはたらき ・・・・・・・・・・・・4
・ご使用前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
・ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　本のセットのセット手順 ・・・・・・・・・7-8
　本のセッティング目安 ・・・・・・・・・・8
　ページだれ補助棒の使い方 ・・・・・9
　動かしてみましょう ・・・・・・・・・・・・10
　スキャンモードによる動作方法 ・・11
　サブスイッチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・12
・こんなときには ～ トラブルQ＆A ・・13
・メ　モ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
・保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

ダブル技研株式会社

安全上のご注意

り一だぶるを安全にご使用していただくために、下記のことをお守りください。

注意　誤った扱いをしたときに、傷害や物的損害に結びつく可能性があります。

図記号の意味　 　は**してはいけない**「禁止」事項です。

　は**しなければならない**「実施」事項です。

紙押えの動作部分は、手で動かさないでください。

部品が破損するおそれがあります。必ず電源を入れ、操作ボックスまたは
スナップスイッチで動かしてください。

「本」をセットしない状態での、空めくりは

おやめ下さい。

本体表面の材質や目盛りシールが摩耗しますので、必ず「本」を
セットしてからめくり操作を行ってください。

本機を輸送の際は、必ず専用収納箱をご使用ください。

本機にはさまざまな突起物があり、輸送時に破損するおそれがあります。
専用収納箱は本機の特性を考慮して作成してありますので､必ずご使用ください。

主な機能

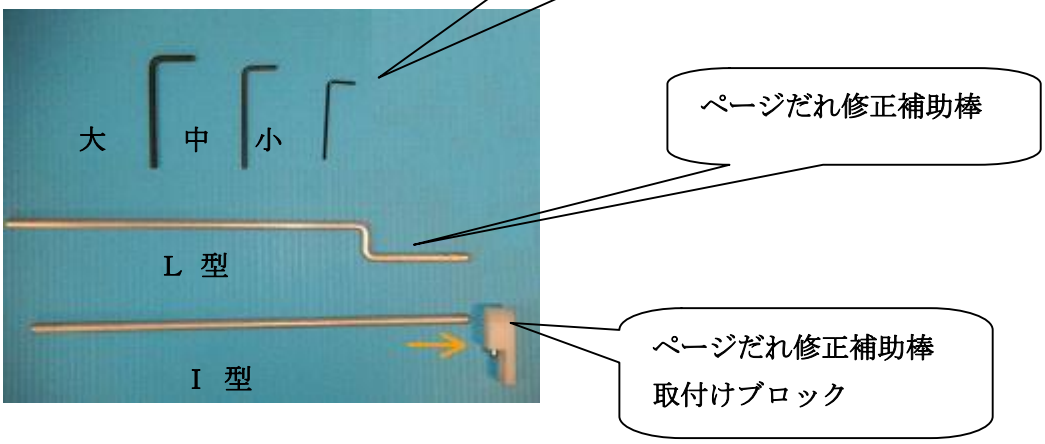
ページ数自動対応　　本の厚さ(ページ押さえ停止位置)に対して、自動対応します。

紙破れ防止機能　　めくりローラーに紙が巻き込まれた場合は、センサーが感知して停止します。

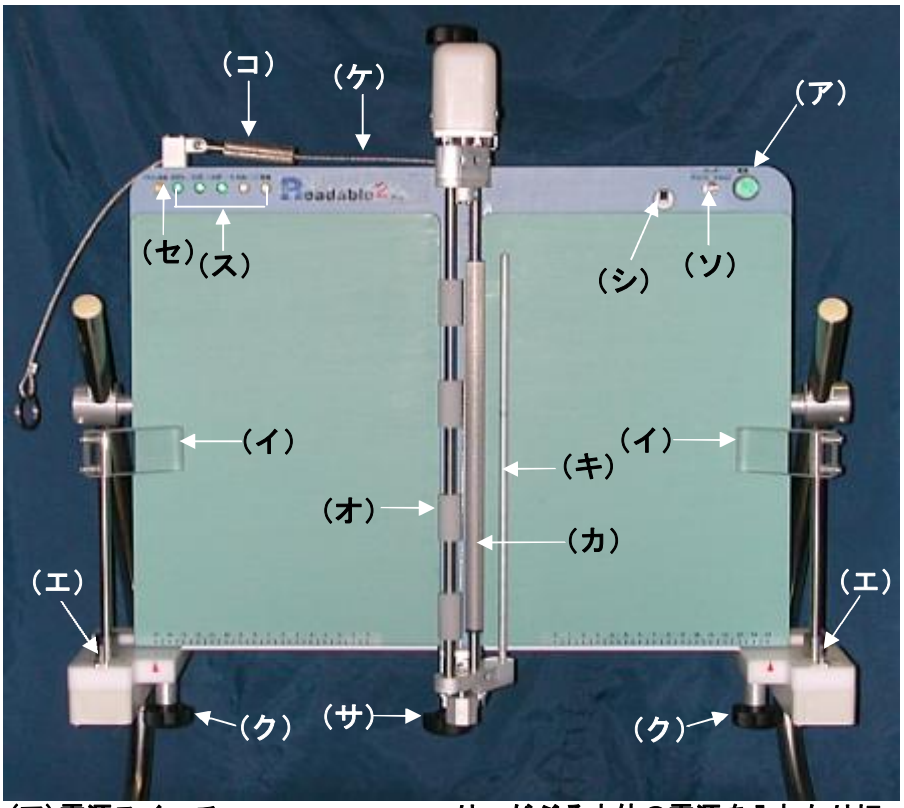
異常対応機能　　自動めくり中に、紙の巻き込み以外に負荷がかかった場合、またはなんらかの理由でめくり動作が所定時間内に完了しない場合は、動作が停止し異常ランプが点滅します。

環境制御装置対応　　環境制御装置をお持ちの方は、学習リモコンに登録してご使用になることも可能です。

付 属 品

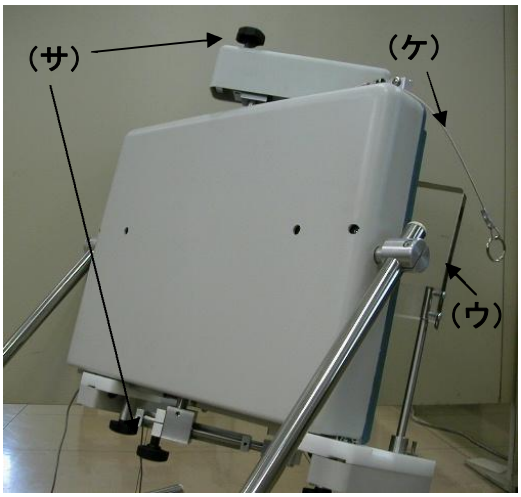


各部のなまえとはたらき



正面図

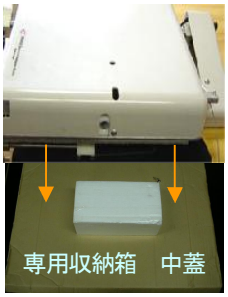
（ア）電源スイッチ　　りーだぶる本体の電源を入れたり切ったりします。
（イ）ページ押さえ板　　本のページを押さえます。
（ウ）ページだれ防止板　（背面図）
　　大きな本の上部をささえます。（取付け・取外可能）
（エ）スナップスイッチ
　　ページ押さえ板を開方向と閉方向に動かします。
（オ）ページめくりローラー
　　回転してページをめくります。
（カ）押さえローラー
　　ページめくりの際にページを押さえます。
（キ）ページだれ修正補助棒（I 型、L 型）
　　大きな本を読むとき、本のたるみを解消します。
＜（オ）、（カ）、（キ）を合わせてめくりローラーユニットと呼びます＞
（ク）押さえ板固定つまみ
　　押さえ板の位置を調節し固定します
（ケ）本中心合わせワイヤ　（背面図）
　　このワイヤの下に本を差し込みます。
（コ）ワイヤ緊張止金具
　　ワイヤを張って本を固定します
（サ）めくりローラー位置固定つまみ　（背面図）
　　めくりローラーユニットの位置を前後に調整し固定します。
（シ）受光窓　　リモコンスイッチからの信号を受けます。
（ス）スキャンランプ　　（詳細は１１ページ参照）
（セ）スキャン速度調節つまみ　　スキャンランプの点滅速度を調節します。　（詳細は１１ページ参照）
（ソ）リモコン・スキャン切替えスイッチ　　（詳細は１１ページ参照）



背面図

ご使用前の準備

図１

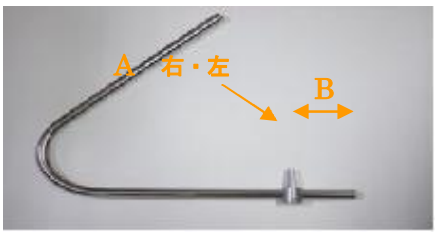


テーブルスタンドの組立て
（アシスタンドへの取付け方法は、アシスタンドの取扱い説明書をご覧下さい）

【作業に入る前に】⚠ ⃠

- 本体を傷つけないために、専用収納箱の中蓋の発砲スチロールを敷き、その上で作業をしてください。
- 各ネジは、り一だぶるが動かない程度に締めてください。
  必要以上に　締め付けると部品が破損するおそれがあります。

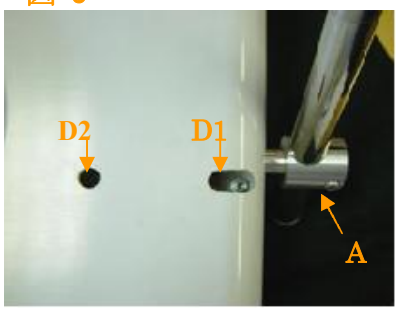
図 2



【組立て手順】

① 本を載せる側を下にし、専用収納箱中蓋の発砲スチロールを台にして、その上にり一だぶるを載せます。（図１）
② (B)部が長いほど本体の位置は低くなります。（図２）
③ 付属工具レンチ(大)を使用し、左右の(D1)ネジをゆるめます。（図３）
④ (A)を(C)にさしこみます。
その際、左右を間違えないで下さい。（図４、図４右）
⑤ 付属工具レンチ(大)で、(D1)のネジを締めます。
⑥ り一だぶるの両側を持って机の上に立てます。（図５）

図 3



【組立て後の調整】

① 左右のバランスをみます。
図５のように本体とスタンドが垂直になるように調整してください。

図 4

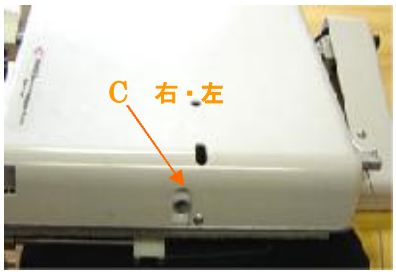
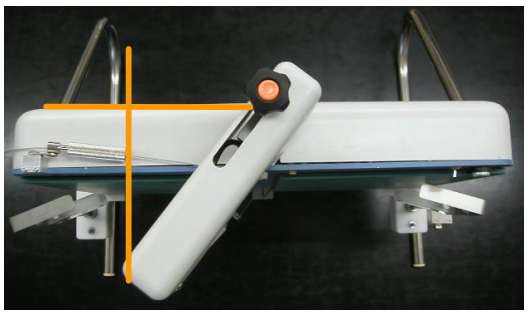


図４右

② 高さと角度を調整します。(A)と(D1)のネジで調整してください。
付属工具レンチ(大) を使います。

図５



【オプション】

アシスタンドへ取り付ける場合は、
「り一だぶる」左または右の D1、D2 の
ネジをゆるめ C の穴へお好みの方向から
差し込みます。
詳しくは「アシスタンド」の取説をご覧
ください。

ご使用方法

本をセットします。

【本をセットする前に】

- **お読みになる本には、あらかじめ開き癖をつけておいてください。**
  本のページを何箇所か開いて、中央部を上から手のひらで強く押さえます。
  これを行うと、よりうまくめくることができます。

- **とじこみハガキ、袋とじ等は取り除いてください。**
  ページがうまくめくれなくなります。

- **大切な本はおやめください。**
  本のつづり方、紙の材質によっては、本が破損するおそれがあります。

【本のセット手順】

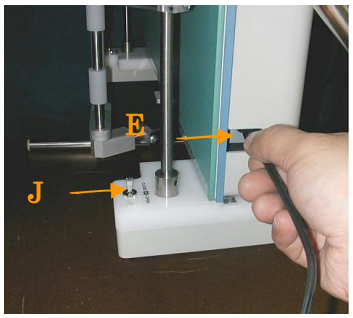


図 1

① 電源コードを差込口(E)に入れ、プラグをコンセントに差し込んでから、電源スイッチを入れます。(図 1)

② 両側のスナップスイッチ(J)をそれぞれ外側に倒し、ページ押さえ板(G)[図 6 参照]の押さえを外します。(図 2)

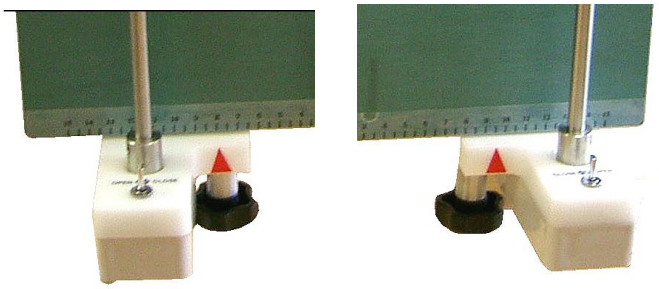


図 2

③ ワイヤ緊張止金具の突起の部分を中に押し込みながら、ワイヤを下に引いてたるませます。(図 3)
ワイヤ緊張止め金具が締まりすぎていると、突起部が硬くなり押し込めません。ワイヤ緊張止金具を手前方向に回してゆるめると簡単に押すことが来ます。

図 3

図 4

④ 本の中央を開いて、本中心合わせワイヤと本体の間をくぐらせて中央に起き、ワイヤを本の中心部に沿わせます。(図 4)

⑤ ワイヤ端のリングを引っ張ります。(図 5)

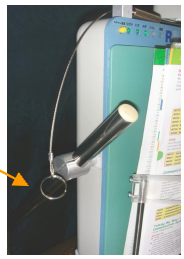
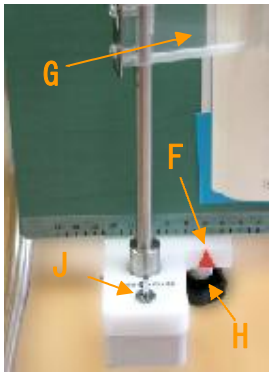


図 5

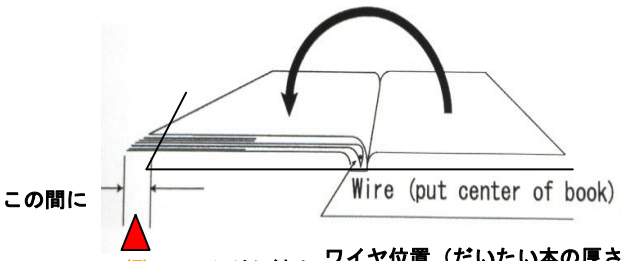
⑥ ワイヤ緊張止金具を回して締め、本を固定させます。
強く締めるほど、本は動きにくくなります。

⑦ 押さえ板固定つまみ(H)を緩めると両側のページ押さえ板(G)が左右に移動できます。
ページ押さえ板(G)の位置を下図の要領で調節します。
目安として▲(F)の位置が本の端にくるようにします。(図 6 と下図)
位置が決まったら押さえ板固定つまみ(H)を締めます。

図 6



⑧ 読み始めのページをセットします。読み始めのページを残し、あとのすべてのページを反対側へまとめてください。(下図)



⑨ ページがたるまないように手で押さえながら、スナップスイッチ (J) をそれぞれ内側に倒しページ押さえ板(G)を動かしてページを固定してください。

⑩ めくりローラーの位置を決めます。
上下のめくりローラー位置固定つまみを緩め、本の中央部でめくりローラーユニットを
スライドさせ調整します。
補助棒もしくは押さえローラーを本から指一本分離した位置が目安です。(図 7)
上下の目盛りの位置は合わせてください。位置が合っていないと上手くページめくり出来ない
場合が有ります。
位置が決まったら上下のめくりローラー位置固定つまみを締めて下さい。(図 8)

図 7

本のセッティング目安

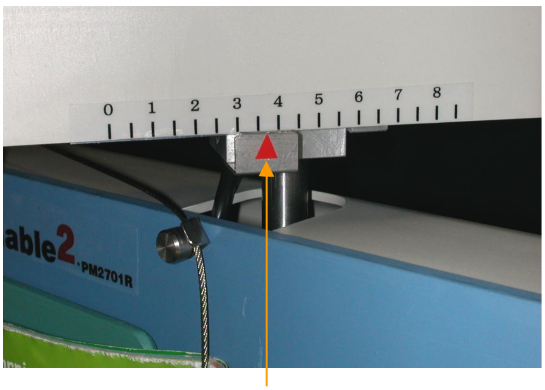
本の種類	サイズ (cm)	押さえ板 目盛り	めくりローラー 上下目盛り	厚紙 対応	たるみ 対応	補助棒
文庫本	11×15	2.0	0.5			
ハードカバー	14×20	4.0	1.5			
週刊誌	18×26	9.0	5.5	○	適時	Ⅰ型棒
少年ジャンプ	18×26	8.0	5.0	適時		Ⅰ型棒
A4 ｻｲｽﾞ 雑誌	21×30	11.0	5.5	○	適時	L 型棒

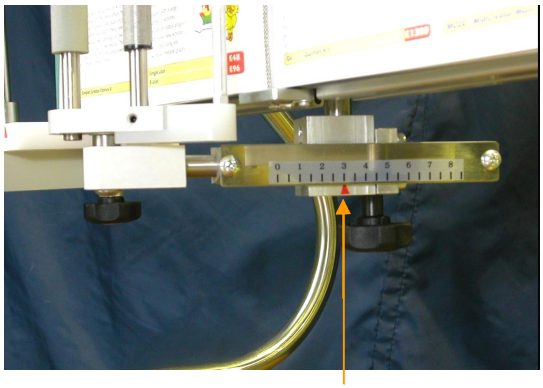
＊ 上記はあくまでも目安です。適時変化させて、その本の最適なセット条件をお探しください。
本の厚さ(ページ数)でも変化します。

＊ 本の幅のサイズは「ページ押さえ板位置」、本の厚さは「ページめくりローラー上下位置」、
紙質では「厚紙対応」「たるみ対応」が大きく影響します。

＊ 新条件設定後は、一回のめくり動作で判断しないで数回めくってみてください。
次第になじんでよくめくれるようになる場合があります。

図 8





ページめくりローラー　上目盛り　　ページめくりローラー　下目盛り

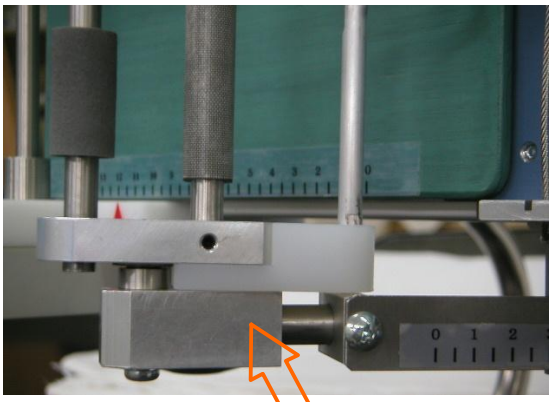
上下の目盛りが同じになるようにセットしてください

ページだれ修正補助棒の使い方

A4 ｻｲｽﾞまたはそれに近い大きさの本の場合、どうしても紙が垂れやすくなります。
このページだれ修正補助棒を取り付けることにより、垂れが修正できます。
2 種類ありますので、両方をテストした上で良い方をご使用ください。

(注意)小さい本のときにご使用されますと、本体に当たって回転できなくなりますので、
取り外してください。

補助棒　２種
Ｌ型　　Ｉ型



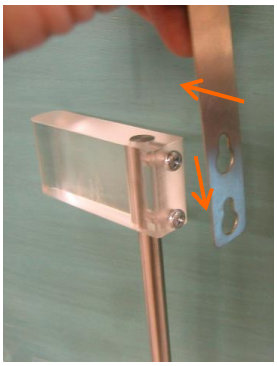
補助棒取付け例

取付けブロックをめくりローラーユニットの下部に差込ます。
補助棒を取付けブロックに差し込みます。

ページだれ防止板

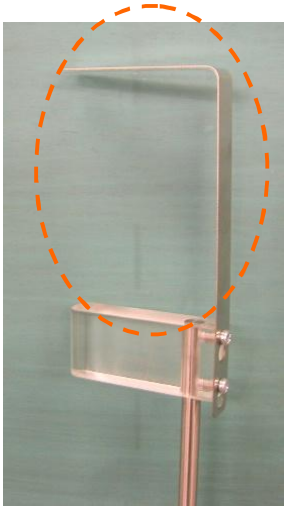
大きな本をセットした場合に、ページ上部が
垂れることを防ぎます。
ワンタッチで取付け・取り外しが可能です。
必要でないときは外しておいて下さい。

取り付けは、ページ押さえ板のビスの頭に
ページだれ防止板の穴を合わせて挿入し
下にスライドさせることで取り付けることができます。
取り外しは、取り付けと逆の手順で
ページだれ防止板を上にスライドさせて
ページ押さえ板のビスの頭から外して
取り外します。



セット方法

差込例



動かしてみましょう

【電源】

電源 ON

本体の電源スイッチの状態が OFF になっている事を確認して下さい。

スイッチが押し込まれている状態が ON です。

電源コードをコンセントに入れ、プラグをリーダブル本体のジャックに差し込んでください。

<P7【本のセット手順】の図 1>を参照して下さい。

本体の電源スイッチを押します。電源スイッチの電源ランプが点灯します。

電源 OFF

＊ **電源 ON の状態で、リモコンの電源ボタンを押した場合には、**
電源スイッチの電源ランプは消灯しますが電源スイッチは、押し込まれたままの状態です。
再度、リモコンの電源ボタンを押した場合には、電源スイッチの電源ランプが点灯し
通電状態になります。

＊ **本体の電源スイッチを押した場合には、**
電源ランプは消灯し電源スイッチは、押し出された状態になります。

【リモコンスイッチによる操作方法】

① リモコン本体の裏カバーをはずし、単四乾電池を二本入れます。

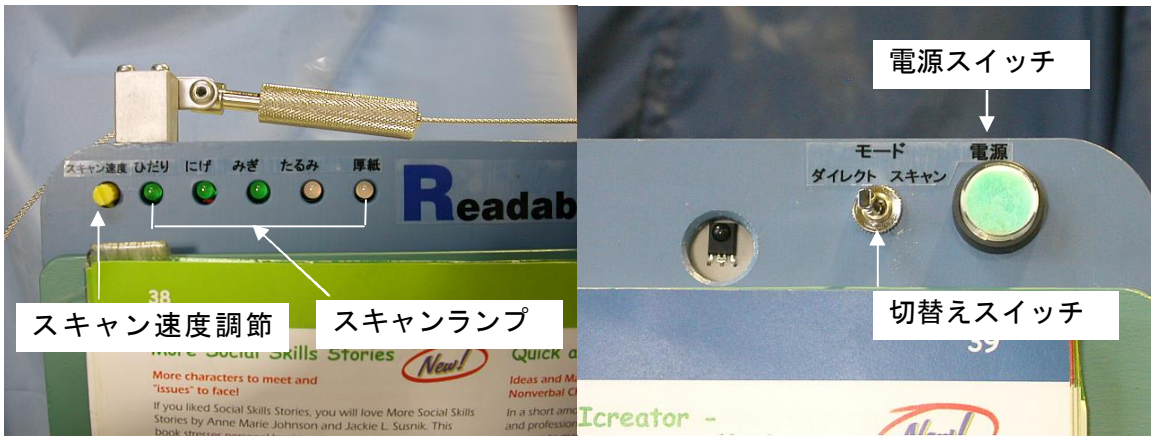
電池を入れる際には、電池の＋極と－極の方向を確認して下さい。

② りーだぶる本体の切替えスイッチをダイレクトモードにしてから、
りーだぶる本体の電源スイッチを入れます。

③ リモコンの投光部をりーだぶる本体の受光窓に向けてボタンを押すと動作します。

電 源	りーだぶる本体の電源を入れたり切ったりします。
に げ	めくりローラーユニットが右又は左に、移動します。
ひだり	左のページを右にめくります。
み ぎ	右のページを左にめくります。
たるみ	大型週刊誌などのように、紙が大きくて 垂れやすい本の場合、めくり終わりのページが たるむことがあります。 その際にページをひっぱり、たるみを取ります。 （りーだぶる本体右上のたるみランプが点灯します。） **ただし、本の綴じ方、紙質によってはこの動作で** **ページが破損してしまう可能性があるので** **ご注意ください。**
厚 紙	少年漫画雑誌のような紙質の場合や 紙の厚みによりめくりきれない場合などに 使用します。 （りーだぶる本体右上の厚紙ランプが点灯します。）

【スキャンモードによる動作方法】



① 電源スイッチを押す、もしくはリモコンの電源ボタンを押して、電源を切ります。
② 切替えスイッチをスキャン側にします。
③ 電源スイッチを押す、もしくはリモコンの電源ボタンを押して、電源を入れます。
電源スイッチによる電源 ON の場合には、モードが切換わるのに電源を OFF してから
約３秒程度待ってから電源を ON してください。
④ りーだぶる本体の電源スイッチの電源ランプが点灯し、スキャンがはじまります。
⑤ スキャン速度調節つまみでランプの点灯間隔を調節します。
右に回すと間隔は長くなり、左に回すと短くなります。
⑥ 目的動作のランプが点灯したときに、リモコンのボタンを押す、もしくは
リモコンに接続したサブスイッチで信号を出せば、その動作を行います。
（リモコンのボタンは電源以外のどのボタンでも OK です。動作はスキャンランプの動作に準じます）
⑦ 「たるみ」「厚紙」ランプが点灯中に信号を出すと、ランプの色が赤または緑に
変わります。赤のときはその機能が働いていることを示します。
⑧ ５ランプスキャン/３ランプスキャンの切替え
「たるみ」「厚紙」は一度決めればその本を読み終えるまで、ほとんど変更しないため、
「左めくり」「にげ」「右めくり」の３ランプだけにスキャンを切り替えることができます。
「にげ」ランプ点灯時に長くリモコンのボタンを押したまま(約２秒以上)にして信号を
出せば、５スキャンから３スキャンへ、またその逆へ切替えを行います。
なお、信号と同時に「にげ」の動作も行います。

【サブスイッチ】

リモコンスイッチのボタン操作が困難な方は、スキャンモードでサブスイッチを使用してページをめくる事ができます。
スキャンランプが点灯しているところで、サブスイッチで信号を出せば、「りーだぶる」はその動作を行います。

下記のスイッチをご用意しております。

- **呼気スイッチ**　　呼気によりページめくり動作がコントロールできます。
- **各種押しボタンスイッチ**　手や足などで押して操作するスイッチです。
- **タッチスイッチ**　　上面のパッド部に触れるだけで操作できます。

その他、各種特殊スイッチも承っておりますので、ご相談ください。

こんなときには・・・トラブルＱ＆Ａ

- **めくりローラーでページがすくえない場合**
  →「厚紙」機能を使用してみてください。（厚紙ランプが点灯した状態）
  ダイレクトモード：リモコンの「厚紙」ボタンを押してください。
  スキャンモード：「厚紙」ランプ点灯中にリモコンのボタンを押して下さい。
  →めくりローラーの位置が離れすぎていたら近づけます。（指一本分ぐらいのあきが目安）

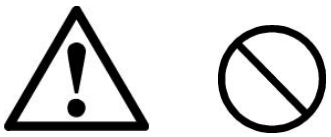
- **ページがたるんでしまう場合**
  →「たるみ」機能を使用してみてください。（たるみランプが点灯した状態）
  ダイレクトモード：「たるみ」ボタンを押してください。
  スキャンモード：「たるみ」ランプ点灯中にリモコンのボタンを押して下さい。
  →大きな本の場合は、ページだれ修正補助棒を取り付けます。
  この場合、めくりローラーの位置を補助棒が動作できるよう本から離してください。

- **ページめくりローラーに紙がからまってしまう場合**
  →めくりローラーの位置が本から離れすぎている場合は近づけます。
  ＜p8　図 7 を参照して下さい。＞

- **押さえ板とめくりローラーがぶつかってしまう場合**
  →お互いが近づき過ぎです。　それぞれの位置が適切か確認してください。

- **めくりローラーがスムーズに回転しない場合**
  →長期間ご使用していただいていると、起きることがあります。
  ページめくりローラー目盛りを確認して下さい。
  上下の目盛りをできるだけ正確に合わせてください（p8　図 8 を参照）

ブレーキの調整
めくりローラー上部のネジ（左図参照）を付属工具の
レンチ（小）で、時計回りに回してください。（ブレーキが強くなります）
めくり動作を確認しながら、少しずつ行います。



本の種類によっては「りーだぶる」をご利用になれないこともありますので、ご了承ください。